

# 福岡県筑前町立三輪中学2年男子生徒

## いじめ自殺についての調査嘆願

文部科学省 文部科学大臣 伊吹文明殿

平成18年10月11日、福岡県朝倉郡筑前町町立三輪中学校2年の男子生徒が自殺した事件に於いて、平成18年12月12日に町教委が設置した調査委員会による中間報告書が提出されましたが、「いじめに類する行為があった」とのきわめて曖昧な文言が出されたのみで、生徒が自殺するに到った真相を解明しようとするものではありませんでした。

このような内容では、現在いじめられている子供たちの、学校や大人に対する信頼感は薄れ、絶望感を増すばかりです。全国に広がる中高生の自殺連鎖を阻止するためにも、きっかけとなったこの事件の全容解明と適正な対処が最も必要なことだと思います。そこで、下記の件について、文部科学省に早急に調査していただくよう嘆願いたします。

- 1) 自殺した生徒は、入学時から複数の生徒から「死ぬ」と言われ続け、自殺当日も集団によりトイレの床に転がされズボンを脱がされそうになったと報告され、また生徒の遺書にはいじめがあったことが示唆されているにもかかわらず「いじめがあった」と明確に断定できない理由は？
- 2) この学校や町が行っている調査が、同様の問題が起こっている他県他校に比べて、事件後2カ月以上と、はるかに時間がかかっている理由は？
- 3) 報道によると、生徒自殺後も、いじめていた生徒たちが笑いながら生徒の棺桶を覗き込んだり、新たに別な生徒をいじめたりしているようだが、校内でいじめが常時蔓延しているのではないか？
- 4) いじめを行った生徒の親にも聞き取り調査をし、その上で専門家等が解析などを行った後、未成年とはいえ加害生徒達には、何らかの処罰・注意およびサポートが必要ではないか？

以上、述べました点につきまして、文部科学省の指示の元に公平性を重視した調査委員会を再組織し、厳正な調査を行うことで、今いじめられて苦しんでいるすべての子供たちに向けて、適切な報告をしてくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

日付 平成 年 月 日

名前 \_\_\_\_\_ 印

住所 \_\_\_\_\_

※住所は都道府県名から